

熊本市男女共同参画センターはあもにい開館30周年記念パネル

「はあもにいって、どんな施設？」
その機能や役割を紹介しています

熊本市男女共同参画センターはあもにいは、令和2年4月7日に開館30周年を迎えました。30年の節目を迎えたことを記念し、1階エントランスホールに会館の紹介パネルを設置しました。

ホールなどの貸室利用の皆さまの中には、「熊本市男女共同参画センターはあもにい」がどんな役割を持つ施設なのか、よく知らないという方もいらっしゃるかもしれません。パネルでは、これまでの歩み、はあもにいの持つ機能、ホールおよび情報資料室の紹介、そして男女共同参画啓発のために現在実施している講座などの一部を紹介しています。

パネルは、会館の正面入り口から入って左手、2階に上がる階段横に展示しています。はあもにいのシンボルツリーであるミモザ色が目印です。ご来館の際はぜひご覧ください。



相談窓口について

相談は無料。どなたでもご利用いただけます。各相談では、専門の相談員がお話を伺います。秘密は固く守られます。

【男女共同参画課相談室】(熊本市役所内)

専門相談		
専門相談 面談予約専用電話	月曜日～金曜日 10:00～16:00	096-352-2587
	内容	相談日時
心理相談	生き方、心にまつわる様々な相談を臨床心理士がお受けします。※奇数月は男性心理士、偶数月は女性心理士が対応	第2火曜日 13:00～16:00 面談相談
DV法律相談	DV(パートナー等からの暴力)に関する相談に弁護士がアドバイスします	第2・3木曜日 13:00～16:00 面談相談
男女共同参画に関する法律相談	離婚・親権・パワハラ・セクハラなど男女共同参画に関する相談に弁護士がアドバイスします	第4木曜日 13:00～16:00 面談相談

【熊本市DV相談専用電話】

電話番号	096-328-3322	
DV相談	配偶者からの暴力に関する相談を相談員がお受けします	月曜日～金曜日 8:30～17:15 電話相談

※一般相談は、2019年4月1日より廃止になりました。ご相談は各区役所福祉課でもお受けすることができます。その他、熊本市にお住いの方は、こころの健康センター、子ども・若者総合相談センターなど、内容等によりご相談先がございます。

※はあもにい総合相談室は、2019年1月に移転しました。



※公共交通機関の利用の協力をお願いいたします。

◆熊本電鉄バスをご利用の場合

- ⇒C1、3乗車で「男女共同参画センターはあもにい前」下車
- ⇒C4、5、6、7、9乗車から「済々黌前」下車



※C1、3のバス停は、はあもにい目の前です。

熊本市男女共同参画センター はあもにい HARMONY

〒860-0862 熊本市中央区黒髪 3-3-10
TEL : 096-345-2550
FAX : 096-345-0373
http://www.harmony-mimoza.org/
info@harmony-mimoza.org

【開館時間】
ホール・研修室 / 9:00～21:30
情報資料室 / 9:00～19:00

【休館日】
第2・第4月曜日
(祝日の場合は翌平日・12月29日～翌年1月3日)

熊本市男女共同参画センターはあもにいは 2020年4月7日に開館30周年を迎えました。皆さまの温かいご支援、ご愛顧の賜と深く感謝申し上げます。

【熊本市男女共同参画センターはあもにい情報紙】 はあもにい通信

※通信はホームページでもご確認ください

2020.12月号 vol.102

発行日/2020年11月25日

編集・発行/熊本市男女共同参画センター
はあもにい

☎096-345-2550

はあもにい講座・催しのご案内

参加には申し込みが必要です。
お子さんをお預かりします。事前予約。

熊本市男女共同参画センターはあもにいは、感染症防止対策を行いながら運営しています。情報資料室は新聞・雑誌の閲覧などは可能ですが、一部制限を継続しています。詳しくはホームページ等をご確認ください。ご利用に際しては、感染症拡大防止にご協力をお願いいたします。

【メインホール・多目的ホール催事予定につきましてはホームページをご確認ください】

参加者募集

※予定変更の場合があります。参加の際は感染予防にご協力ください

パパと一緒に！ サバイバル・プレスレットづくり

丈夫で軽いパラシュートロープを使った「サバイバル・プレスレット」は、アウトドアや非常時に大活躍。マイナスドライバーやホイッスルもついた多機能でオシャレなプレスレットを、親子お揃いで作ってみませんか。

1/16(土) 10:00～正午

会場 2階学習室

講師 皆川 由貴子氏
(あそび寺子屋代表)

対象 小学生以上のお子様とその父親

定員 10組(先着順・要事前申込)

料金 1組700円(2セット分)

申込 12月5日(土)
から電話で受付



市民グループ企画募集

来年度実施する市民グループの企画を募集します。採用されたグループには、会場費の減免や事業費の一部補助などの支援をはあもにいが行います。

内容 市民グループが計画した男女共同参画に関わる企画を募集。
【企画例：講演会、セミナー、ワークショップなど】

条件 2021年5月～2022年3月までに実施可能、また、その他募集要項をすべて満たすもの

採用数 3グループ程度
(書類・面接による選考あり)

対象 熊本市内在住、通勤、通学している方が活動する市民グループ

申込 募集要項を確認の上、1月23日(土)までに申請用紙を郵送またはメールで提出。
募集要項および申請用紙は、はあもにいにて配布、またはホームページからもダウンロード可

相談受付

行政相談

社会福祉のこと、役所の手続きのこと…あなたの悩みを行政相談委員に相談しませんか？

12/7(月) 13:00～15:00

会場 1階ロビーまたは応接室

料金 無料

相談員 伊藤一敏さん・吉永伯枝さん
(総務省 行政相談委員)

問合せ 総務省熊本行政評価事務所
☎096-324-1662
☎0570-090110(行政苦情110番)

毎月開催 働き方相談所

就職活動や就業に関する不安、現在の仕事に対する悩みなどに個別に対応します。求人検索も行います(この場での紹介状発行は行いません)。1歳～未就学児の託児あり(10日前までに要予約)。子ども同席可。

12/16(水) 10:00～16:00
(1人1時間程度)

相談員 ハローワーク相談員 料金 無料

申込 電話で随時受付(9時～19時)

社会を豊かに、平和に。



館長 坂本ミオ

市民の皆さまに、男女共同参画について触れ、楽しく学んでいただく機会を提供しよう。例年11月に開催している「はあもにいフェスタ」。今年は新型コロナウイルスの感染拡大という思いも寄らぬ状況に、開催の可否から悩みました。市民グループの皆さまに活動場所を提供したい。オンラインだけでない発信・交流もしたい。その思いから検討を重ね、さまざまな感染症予防策を講じ、市民グループによるセミナーやバザーなどを1日限定で開催。翌日に記念講演会を催すことで、来場者の密を避けることにしました。本来なら開館30周年を記念してパレードや花火大会などを行ったのが、たくさんの方々から盛り上げてくれたのが、たくさんの方々が花を会館を彩ってくれ、かぐわしい香りと、優しくも華やかな色合いで、来場者を迎えてくれました。記念講演会では、弁護士住田裕子さんが、性別による固定的役割分担意識や、世界の中で大きく遅れている日本の女性活躍について、データを示しながら現状を解説。その上で、ご自身のこれまでの歩みも踏まえて、「性別にかかわらず、いかなる力を発揮できる社会を次の世代に残しましょう」と語りかけました。「男女平等は社会を開発し、発展させ、豊かにする。それは平和を生む」と締めくくられたメッセージに、明日への希望を感じたのは私だけではないでしょう。新たな年を前に意を強くしたフェスタでした。

はあもにいの事業や活動をご紹介します

コロナ禍の中、新しいスタイルではあもにいフェスタ2020開催

毎年11月に開催している、市民協働イベント「はあもにいフェスタ」。今年度は11月7日(土)、8日(日)に、規模を全体的に縮小し、さまざまな感染症対策を行った上で実施しました。

今年の4月に開館30周年を迎えたことを記念し、市民グループからの意見を取り入れながら決めたテーマは、「30年の歩み つなげよう “私らしく生きる”未来へ」。

2日間にわたって行う予定の市民グループのワークショップやバザーは、今回は1日のみ。そして例年好評の男女共同参画クイズラリーは、館内回遊をやめ、多目的ホールで問題数を減らして実施。後日プレゼントが当たる形式で実施しました。

8日の午前中は熊本県弁護士会による法律講座、午後は熊本市と熊本県弁護士会との共催で住田裕子氏記念講演会を行いました。メインホールの定員を制限した代わりに、ZOOMによる生配信を実施。多くの皆さまに視聴いただきました。

入場の際のヘルスチェック、オンラインでの講演会の配信など、新しいスタイルで実施した「はあもにいフェスタ2020」。ご来館いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



「女性差別を撤廃すること、つまり男女共同参画社会の最終的な目標は、『平等です！』という言葉に、多くの参加者がうなずいていました。



はあもにいの市民グループ企画採用イベント「パパの手で作る赤ちゃんのハッピータイム♪」(実施主体:熊本転入ママの会)も当日実施



1階エントランスでは、間隔を広く取りながら、バザーやそれぞれの活動発表展示などのブースが並びました

はあもにいフェスタ 2020
 30年の歩み つなげよう “私らしく生きる”未来へ
 2020年11月7日(土)・8日(日) 10:00~15:30
 参加団体: 15の市民グループほか
 講演会参加者: 240人 (内ネット視聴 57人)
 クイズラリー参加者: 149人 (内ネット参加 43人)

持続可能な魂の利用

松田青子 / 著 中央公論新社

男女格差と固定観念により退職に追い込まれた30代の敬子。思いがけず男性が演出する女性アイドルに夢中になります。アイドル文化を通して日常にはびこる悪意や理不尽な状況、抑圧を認識した彼女が、日本の女性たちを浪費する社会を変えるべくとった行動とは。性別や年齢は関係のない、男性中心社会の象徴として描かれる「おじさん」から自由になるためのレジスタンス小説。

「おじさん」の目に「少女」がうつらなくなってしまうという冒頭の近未来パートと、敬子たちが生きる現代が交互に描かれ、終盤まで一気に読ませます。

未来に待っているのはユートピアか!? 「女性」たちの怒りの表明、声にならない叫びがこだまする「今」読むべき1冊です。

情報資料室 おすすめ本

今月のえ・ほ・ん

幼児室より

「ゆめのゆき」(英語版「DREAM SNOW」)

大人気「はらぺこあおむし」の作者による絵本。農場のおじさんがサンタになって飼っている動物たちのためにプレゼントを配ります。雪の中に動物たちがすっぽり隠れる楽しいしかけつき。さあ、プレゼントの中身はなあに?

さく/エリック・カール

毎月恒例

よんでよんでの会

幼児室スタッフによるおすすめ絵本の読み聞かせのほか、楽しい手遊びやふれあい遊び、紙芝居など!

12月1日(火) 11時~(約30分)
 場所: 1階ロビー ※予約不要

はあもにいフェスタに花の彩り

表面の「館長だより・ミモザのリース」内でも紹介していますが、はあもにいフェスタ当日、はあもにいの正面入り口は多くの花で彩られました。

熊本県花き協会が主体となって行っている「街なか花いっぱい運動」。フェスタが行われた11月7日(土)は、「まち・はなパビリオン」としてサクラマチバスターミナルなど、街中いっぱいに花が飾られていたようです。

フェスタ当日は感染症対策のため、はあもにいへの入退館を一方通行でお願いしましたが、目にも鮮やかなたくさんの花が来館者を出迎え、進行方向を誘導してくれる役割を果たしてくれました。



わたしのギャラリー

展示を希望するグループに1階エレベーター前壁面を無償で使っていただく「わたしのギャラリー」。絵画・書・写真・手作り作品など、壁面に展示できるものが対象です。

11月は19日より30日まで子育てネットワーク「縁側moyai」さんの豪雨災害支援のパネル展示、12月1日から15日まではガラスアート展示が予定されています。

まだ2月、3月はスケジュールに空きがあります。詳しくはお問い合わせください。



ギャラリー展示例

「男と女のさんかく劇場」 画/ブンノ絵巳

~マンガで考える「男女共同参画」~

マンガの中では、おばあさんが孫に背中を押されながらビジネスセミナーに通い始めました。新しいチャレンジに心を躍らせる姿に、何歳になっても学ぶ機会があることの大切さを感じます。

はあもにいでは、例えば、男女共同参画の基礎を学ぶ講座、資格取得を目指す講座、起業を目指す方を支援する講座など、男女共同参画に関するさまざまな講座を一年を通して実施しています。講座は無料または安価で受講可能。託児もあります(年齢制限、定員あり)。

はあもにいの講座の案内は、このはあもにい通信表面に記載の他、ホームページ、Facebook、市政だより、市のLINEなどで確認することができます。ぜひ新しい学びの機会にご活用ください。

世界を広げる